

新 議 長 決 ま る



議 長 梅 澤 佳 一

御挨拶

皆様の御推挙により、第125代埼玉県議会議長の職を拝命いたしました、梅澤佳一でございます。

誠に身に余る光栄であり、心より感謝を申し上げますとともに、歴史と伝統ある埼玉県議会の議長という職責の重さに身が引き締まる思いでございます。

さて、現在、日本のみならず世界中で、長期にわたって新型コロナウイルス感染症の感染拡大の波が繰り返されており、再拡大の懸念や地域経済への影響など様々な困難な課題に直面しています。

本県においても、これまでの経験や知見を活かし、当面する課題に立ち向かい、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と、コロナ禍における経済社会活動の活性化の両立に向けて、この難局を乗り越えていかなくてはなりません。

さらに、今後加速する少子高齢化や、年々激甚化している自然災害、コロナ禍を機に急速にICT技術の導入が進んだ社会におけるSociety5.0～超スマート社会への変革など、様々な課題に対応し、県民一人一人が将来に夢と希望を描けるような、郷土埼玉を築くことが我々の使命であります。

折しも、県政運営の基礎となる計画「埼玉県5か年計画」が令和3年度で終了することを受け、新たな計画の策定に向けて、9月定例会から「5か年計画特別委員会」での審査がスタートしました。

県議会といたしましては、議会が持つ監視機能を十分に果たし、県の施策を検証していくとともに、私たち議員が多様化する県民の声に真摯に耳を傾け、活発に議論し、政策を提案していくことが県民の負託に応えることになり、ひいては、活力ある埼玉県の実現につながるものと考えています。

一方で、社会の変化を的確に捉え、県議会も変わっていかなければなりません。議会改革を推進するため、「ペーパーレス会議システム」の本格実施などについてももしっかり取り組んでいきます。

二元代表制の一翼を担う県議会がその役割と責務を果たすことができるよう、これまで培った経験を生かし、岡地副議長と力を合わせ、公正かつ円滑な議会運営に全力を尽くしてまいります。

議員の皆様方、大野知事をはじめとする執行部の皆様方には、より一層の御支援、御協力を賜りますようお願いを申し上げます。私の就任の挨拶とさせていただきます。